

報道関係者各位
プレスリリース

2023年11月17日
KCJ GROUP 株式会社

KCJ GROUP、大阪・関西万博「国際参加者会議」初の“こども IPM”に参加 国内の中学生 14 名が国連や万博参加国の政府代表と意見交換 ～こども達が描く“ありたい未来”を世界へ発信！～

こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：圓谷 道成、以下 KCJ GROUP）は、2023年11月15日（水）に大阪府立国際会議場（大阪府大阪市）にて開催された 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）「International Participants Meeting 2023 Autumn」（以下 IPM）に「TEAM EXPO 2025」共創パートナーとして参加し、「Talking with Students!～世界へ届けよう！こども達の未来への声～」セッションにおいて、国内の中学生 14 名が大阪・関西万博に参加する国や地域、国際機関の代表メンバー（※1）と意見交換を行いました。



ポスターセッション



「こども IPM」フォトセッション © 2025 年日本国際博覧会協会

大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創パートナーである KCJ GROUP は、キッズニアで集めた約 7 万人のこども達の未来に向けた声をもとにした提言書を万博協会へ提出し、企業や自治体、教育機関と連携しさまざまなプロジェクト活動を展開してきました。（※2、以下 本プロジェクト）今回“こども IPM”では、KCJ GROUP が主催するワークショップ（※3）に参加した中学生 14 名により「ありたい未来」を発表し、国連、各国政府代表メンバーやテーマ事業プロデューサーの宮田裕章氏との意見交換などの機会が設けられました。こどもが登壇する“こども IPM”は、国内初の試みとなります。

また、キッズニアのオフィシャルパートナーであり未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・未来の都市」（※4）に出展する KDDI 株式会社が、本プロジェクトへの参画を決定。今回、こども達が制作したミライパビリオンの外観を万博に関わるデザイナーによってパース化（協力：大日本印刷株式会社、KDDI 株式会社）し、3D プリンターによるジオラマ化（協力：大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ）を行うなど、こども達が自ら未来をデザインする活動を全面的にバックアップするとともに、企業や団体の垣根をこえた共創活動の輪がさらに広がってきています。

KCJ GROUP は今後も、大阪・関西万博に向けてキッズニアでの体験に加えて、企業や団体と連携し、ワークショップなどの共創活動を実施するとともに、こども達の未来への声を世界に向けて発信していく活動を推進してまいります。

- ※1 国連：Mr. Maher Nasser、セネガル：Ms.Zahra Iyane THIAM 代表、スイス：Mr.Manuel Salchli 代表、
オーストラリア：Ms.Nancy Gordon 代表
- ※2 4月5日発表 https://www.kidzania.jp/corporate/common/pdf/230405_expo.pdf
- ※3 11月1日発表 https://www.kidzania.jp/corporate/common/pdf/231101_cosmopolitan.pdf
- ※4 9月14日発表 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20230914-01/>

■大阪・関西万博「国際参加者会議」について

会議名称：「International Participants Meeting 2023 Autumn」

開催日程：2023年11月14（火）・15日（水）

開催場所：大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）

■各チームのパビリオンポスターとプレゼンテーション内容

チーム名/パビリオン名	発表内容		
	テーマ	課題	内容
環境 with 2025 / Forester 	暑さとの共生	地球温暖化や生態系の破壊	「現状や最悪の環境状態の揭示」や「一人ひとりの行動や自然の大切さ」を示し、未来への課題解決策や行動方法の提案を発信する
Truence / 未来学 	今と昔と未来のTruence	自然破壊と科学の強大な力	「今と昔の違い」や「科学によって壊されてしまった未来」を体験型で展示し、最後には自然と科学が共存する理想の未来像を体験してもらう
Efficient Team / 時間と効率 ES 館 	効率的な時間管理の改革	時間が足りないこと	「スマホばかり見ている無駄な時間」や「児童労働によって学べない子ども」がいる現実を体験型で見せ、効率よく時間を使うための技術やアイデアを展示
Team Supporters / いじめとは～あなたはこの理解できますか？～ 	いじめの現実 (被害者・加害者両方を知り理解する)	いじめや誹謗中傷	「光と影のスペース」を作り、入口は真っ暗で被害者や加害者の立場を体験できるスペース、自分ができることを問いかけ、出口は明るい未来を表現

■本プロジェクトの共創活動の一例

こども達が制作したミライパビリオンを万博に関わるデザイナーによるパース化（協力：大日本印刷株式会社、KDDI 株式会社）や、3D プリンターによるジオラマ化（協力：大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ）に協力いただきました。



パース（イメージ）



ジオラマ（イメージ）

<KDDI 株式会社 ブランドマネジメント部 坂本部長からのコメント>

この度、本プロジェクトに参画し、こども達の未来への声をパースという形で世界に届ける協力が出来たこと、大変嬉しく思います。

KDDI が出展する「未来の都市」は、企業・組織や業界の垣根をこえて、さまざまな知見やアイデアを掛け合わせて生まれた、未来の都市につながるデジタルイノベーションや新たな価値を実証する場です。本プロジェクトを通じて、将来を担うこども達の意見をいただき、「未来の都市」の内容を考えていければと考えております。今後さまざまな取り組みをご一緒できることを楽しみにしています。

<国立大学法人 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 伊藤 武志教授からのコメント>

大阪大学中之島センターの「いのち共感ひろば」で開催されたワークショップを通じて生まれた中学生のアイデアが世界に向けて発信されること、大変嬉しく思います。今回ワークショップに協力した大阪大学の学生とともに、その想いを後押しすべくジオラマを製作しました。

そのアイデアや想いをさまざまな人が真剣に受け止め、つながり合い、行動に移せば、明るい未来が実現します。これからもこども達のありたい未来を実現するための活動を KCJ GROUP とともに推進していきたいと思っております。